

**Citation:** Lancaster T, Stead LF. Individual behavioural counselling for smoking cessation. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2005, Issue 2. Art. No.: CD001292. DOI: 10.1002/14651858.CD001292.pub2.

**CRG名:** Tobacco Addiction

### [最新版\(英語版\)はこちら](#)

**英語版最終改訂年月:** 14 July 2008

**Clib issue No.;** N/U: 2008 issue 4, Updated

**背景:** 禁煙専門家が個別に行うカウンセリングは、喫煙者に禁煙を成功させる助けになるかもしれない。

**目的:** 本レビューの目的は、個別に行うカウンセリングの効果を決定することである。

**検索戦略:** Cochrane Tobacco Addiction Group Specialized Registerに含まれるいずれかの項目にcounsel\*がある研究を検索した。最終検索は2008年5月。

**選択基準:** 1つ以上の治療群で、通常の診療には含まれない医療従事者が対面で行う個別のカウンセリングを行ったランダム化比較試験と準ランダム化比較試験。アウトカムはカウンセリング開始後6か月以上の時点での禁煙。

**データ収集と分析:** 2人の著者がデータを抽出した。介入と参加者、ランダム化の方法と追跡の完全性が記録された。

**主な結果:** 7,000名を越える30件の試験を同定した。22件の試験では個別のカウンセリングと最低限の行動介入とを比較した。個別のカウンセリングは対照よりも効果があった。長期間の追跡での禁煙に対する相対リスク(RR)は1.39で、95%信頼区間は1.24~1.57であった。全参加者がニコチン代替療法を受けていた4件の試験のサブグループでは、カウンセリングの効果の点推定は小さかったが有意な差があった(RR 1.27; 95%信頼区間 1.02~1.59)。集中的なカウンセリングは簡単なカウンセリングと比較して大きな効果を見いだすことはできなかった(5件, RR 0.96, 95%信頼区間0.74~1.25)。同じ強さの異なるカウンセリングモデルを比較した3件の他の試験では、いずれも有意な差は見つけられなかった。

**レビューアの結論:** 個別に行われる禁煙カウンセリングは喫煙者の禁煙を支援する。

(翻訳 南郷栄秀・監訳 大島 明; JCOHR)

翻訳公開日: 10年7月1日

ご注意: この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がありましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは毎月、改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。